

2023年の科学講座のまとめ

2023年12月23日

上田仮説サークル 渡辺規夫

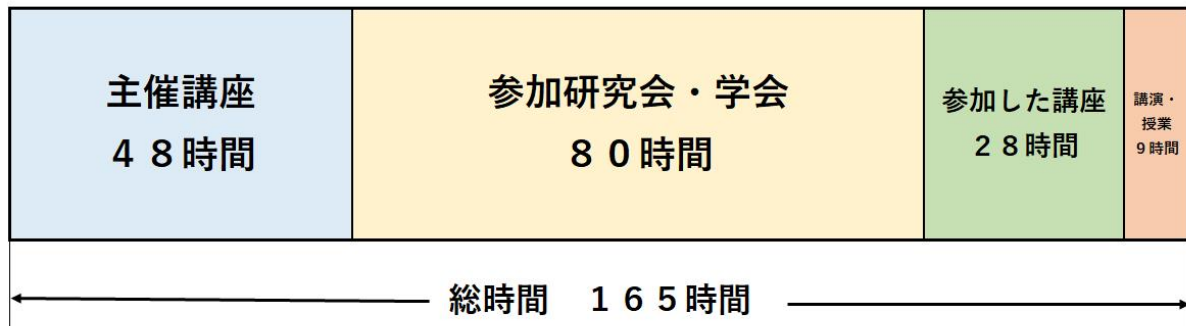
開催回数と時間の集計

(例 大道仮説実験講座 2時間として集計)

	回数	時間	内容
主催講座	11回	48時間	親子孫 3回 ぶんしっし講座2回 大道仮説4回
参加研究会	5回	80時間	磁石検討会2回 大衆化 科学史学会 ぶんしっし
参加した講座	4回	28時間	ぶんしっし2回 親子孫1回 ワークショップ1回
講演・授業	4回	9時間	ことぶき大学院 全県理科 大衆化 ころ家ん学会

1ヶ月に2回、14時間を科学講座のために充てている。

講座主催等にかけた時間(個々の講座準備時間は含めない)



【まとめ】 1年間の時間の50分の1を科学講座に投入

●主催講座 ぶんしっし講座を始めた 参加者187人

年に11回(1回は参加者0で中止)。ぶんしっし講座を始めたことを特筆したい。非常によい。授業書が確立していないために、主催者の判断、準備すべきことが多く、かなりの困難を伴う。材料は大量に仕入れてあるので、2024年も続けたい。

●参加研究会・学会 初期の仮説研究みたい！

磁石検討会は雰囲気が初期の仮説実験授業研究会に似ている。

●参加した講座 講座のやり方を理解

ぶんしっしに2回参加して、様子がわかった。磁石の講座は2回参加。

●講演・授業 ころ家ん学会は超活発

授業書《太陽系の成り立ち》は普及させることが必要。

2024年も同規模の取り組みをしたい。